

2013年度受託研究概要報告

不織布を利用した雑貨の開発

研究メンバー

向井昌幸 デザイン学部プロダクトデザイン学科教授
見明 暢 デザイン学部プロダクトデザイン学科助教

委託者

株式会社キューブエッグ

研究概要

キューブエッグにて製造販売中の不織布を用いた簡易加湿器に続く様な、不織布の機能を応用した新製品のためのアイデア提案とデザイン制作。不織布の機能である吸水性・吸湿性を対象に、暮らしに適した用途を見出し、それを備えた新たな雑貨を構想し提案する。キューブエッグ側の要望は用途開発提案であり、その提案形式としてアイデアスケッチとモックアップモデルで行うとの事から、プロダクトデザイン学科の雑貨・インダストリアルデザインコース3年生前期の演習課題として実施した。

このテーマに8名の学生が参加し、不織布卸の株式会社東洋興業から材料の援助を得て、さらに技術調査の協力を得ながら、調査～アイデア展開～実験と具体化構想～モックアップモデル制作と、一連のプロセスを経てプレゼンテーションを行った。

研究成果

提案内容は、

- ①不織布を成型したお弁当箱、及びバラ
- ②カップラーメンやかき氷の残り汁を吸いこむキャラクター人形
- ③靴の湿気を吸い取るシューズキーパーなど
- ④ペットボトルの結露を吸い取るボトルケース
- ⑤水を吸い込むと文字が浮き出るグリーティングカード
- ⑥プレゼント用のデスクトッププランター
- ⑦扇風機に取りつけるアロマペーパー
- ⑧ガラスの結露を吸い取るための、ガラスの底と側面に貼りつけるコースター

以上8点のアイデアの中から、先方が3点のアイデアを製品化候補として選択。

現在は、⑧のコースターを製品化に向けて先方にて開発中であり、北米で需要の大きいパーティーグッズとしての発売を予定している。このアイデアは、ガラスの側面部に貼りつける部分のシルエットを、人間・動物・植物などのグラフィックや、キャラクターや装飾文様など様々に展開できるところが評価された。

